

WEEKLY Rotary 一宮中央RC REPORT



2024～2025年度 RIテーマ
ロータリーのマジック

地区方針「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」

THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

●創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
●例会日時 毎週水曜日(PM 6時～7時) TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
●例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
◇会長 大塚 省治 ◇会長エレクト 長橋 國和 ◇幹事 山田 満 ◇クラブ会報委員長 森 眞

令和7年5月28日(水)

第1581回(当年度第34回)例会

本日のプログラム

イニシエーションスピーチ

石岡 歩君

西島 琢也君

宮本 万貴君

第1580回例会(当年度第33回の記録)

- ☐ 令和7年5月14日(水) 18:00～19:00
- ☐ 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- ☐ 開会の点鐘 大塚会長
- ☐ 国歌「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」
- ☐ 例会体験 後藤秀毅様

☐ 会長挨拶

大塚 省治

皆さんこんばんは、本日も例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、出席ニコボックス担当例会にて、春木委員長ご紹介のおおすきクリニック院長 大瀬祐己様にお越しいただき、後ほど「大規模災害への対策～命を救うために～」についてのご講演をお願いしております。



そこで本日は3月5日週報に掲載していただいた、友好クラブでもある津名ロータリークラブ様主催の淡路グループIMについてお話しさせていただきます。

IMのテーマは「阪神淡路大震災から30年～発災時！ロータリアンに何ができるのか？～」として、「発災時にロータリアンが行える職業奉仕、社会奉仕活動とは？」と題して、5ロータリー代表者によるパネルディスカッションが行われました。その時、まず率直に感じたことがこの場所の私たち以外全員が被災者であることを思い知らされました。地震直後の惨状であり、生き延びた人々の助け合う行動であり、その後の精神的ストレスであり、30年前の生々しい出来事をお話され、このIMに参加された全員のロータリアンの方々が地域に関する熱い思い、人との繋がりが、ロータリーで出来ることは何かと、向き合っておられる

姿に敬服いたしました。今回の淡路グループIMに参加させていただき、ロータリーの真髓を感じ、ロータリアンであることを誇りに思い、改めてロータリー活動を頑張りたいと思いかえています。

また、淡路グループIMに参加させていただくにあたり当クラブの先輩から30年前の逸話をお聞きしましたのでご紹介させていただきます。当クラブの先輩のお言葉ですが「あの災害発生時、あまりの惨状に言葉を失った私たちですが、微力ながらも何かしらご当地のお役に立てればとの思いから急遽、親睦に関係する行事を取止めるなど義援金集めに奔走し、わずかばかりの額ではありましたが津名クラブ様を窓口に当時の津名郡一宮町へお贈りすることが出来ました。」とお聞きし、これには「尾張の国一の宮、真清田神社を中心として発展させていただいた私どもであるが故に、図らずも大災害に見舞われてしまった淡路の国一の宮、日本最古の神社「伊弉諾神宮」の鎮座される一宮町を支援したい。」との思いからだったとお聞きしました。このときの一宮中央ロータリークラブの先輩方々の判断に敬服し誇りに思います。

本日は、おおすきクリニック院長 大瀬祐己様、「大規模災害への対策～命を救うために～」についてのご講演、勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。



クラブより花束贈呈
銀婚式お祝い 伴 卓樹君

出席 報告	会員 総 数	35名	
	出席会員数	28名	80%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回 (4/12)	100%



おおすきクリニック 院長 大瀧 祐己様

「大規模災害への対策～命を救うために～」

地震大国と呼ばれる日本。南海トラフ地震の発生確率が30年以内に80%と評価されている現在、愛知県に住まう私たちも対策を講じる必要があります。ではどのように備えれば良いのでしょうか？ロータリークラブとしてできることがあるのでしょうか？医療目線からお話したいと思います。

内閣府防災情報でも発信されていますが、災害対策は大きく3つの柱から成ります。自分自身や家族で備える「自助（一人一人の役割）」、地域で助け合う「共助（地域の役割）」、行政が行う「公助（行政の役割）」です。これらの連携が円滑なほど、災害の被害が軽減できるとされます。

まず「自助」ですが、昨今の防災意識への高まりから、自宅に常備する防災グッズなども販売されるようになりました。基礎疾患のある方は、このような備蓄品に加え、ご自身の病名や処方薬などの情報をまとめておくといいでしょう。慢性疾患や軽症の患者さんに対応できるようになるまでひと月ほどかかることもあります。普段から早めの受診を心掛け、定期内服薬を余らせておくことも大切です。

次に「共助」ですが、こちらはあまり一般的に知られていない印象です。「共助が有益であった」という記事を見ても、助け合って避難した、避難所を地域で協力して運営した、などの記載が多くを占め、日常からの備えを活かしたという例は稀です。それもそのはず、そもそも「自助・共助・公助」という言葉が防災・災害支援分野で使われ始めたのは2000年頃からのことです。その上被災経験がなければ、リーダーシップをとって動くことは困難でしょうし、人も必要です。社会奉仕の信念をもった多種多様な職種の集まるロータリークラブほど、「共助」の定義を大きく進歩させることのできる可能性を感じる団体はありません。

「公助」についてもロータリークラブが貢献できるのではないのでしょうか。重症・急性疾患への対応は相応に進歩してきましたが、自治体単位の対策は十分からほど遠いというのが現状です。これも前述した理由と同様、経験値の問題と言えます。被災経験のない自治体が防災計画を立てること自体に無理があるでしょう。行政に対しても影響力を発揮し、より良い計画に改善できれば、いざという時に多くの命が救われるはずです。

「せんいと防災のまち一宮」を目指して、卓話を通じて知見を深めたり、皆さんで議論できると嬉しいです。よろしくお願いします。

□ニコボックス(ABC順)

☆理事会一同

☆秋田敬治君

スキーシーズンが終わりましたので、この春から郡上エンジョイテニスサークルに入会しました。毎週水曜日午前中がレッスン予定日です。八幡島谷のログハウスに前泊して楽しんでいます。もちろん、夜は一宮中央の例会に参加します。

☆伴 卓樹君

例会に出席できたので。

☆春木和美君

大瀧さん、ようこそ一宮中央ロータリークラブにおいで下さいました。災害地域の医療に携わった時の貴重なお話などを楽しみにしています！

☆井上雅樹君

例会に出席できたので。

☆小島三男君

本日は大瀧先生お世話になります。

☆松前憲典君

本日は、おおすきクリニック院長大瀧祐己様「大規模災害への対策」についての卓話です。楽しみにしております。

☆宮田浩二君

大瀧先生、本日はお世話になります。大規模災害への対策の卓話、宜しくお願いします。子供のころの伊勢湾台風を思い出します。備えあれば憂いなしですね！

☆森俊一郎君

暑くなりましたねえ、ビールが旨い!!

☆長橋國和君

後藤秀毅君、本日は見学参加ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

☆中井義也君

例会に出席できたので。

☆大塚省治君

本日は、おおすきクリニック院長 大瀧祐己様「大規模災害への対策～命を救うために～」についてのご講演、よろしくお願い致します。例会見学にお越しいただきました後藤秀毅様、例会をお楽しみ下さい。

☆佐藤祐造君

大瀧祐己先生、ご講義拝聴させていただきます。宜しくお願いいたします。

☆柴田裕市君

森俊ちゃん、永田さん、先日は私の5年振りのゴルフにお付き合い、ご指導いただきありがとうございました！スコアはともかく1ラウンド廻れた事、アップアップしながらも感謝！感謝です。これからも宜しくお願いします！

☆鈴木宣宏君

例会に出席できたので。

☆内田泰潤徳君

ようやく暖かくなって来ました。ただあまりに暑いと困りますね。今の季節が1年で一番良いです。おおすきクリニックの大瀧様今日は命を救うために色々お話をお願いします。

☆山田 満君

4月27日に次男が拳式を行いました。沖縄にはじめて行き、雨の予定でしたが、当日は降らずビーチで全員で写真を撮ることができました。子供達全員手を離れました！

次回 2025年6月4日(水)の例会予定

会員卓話

「未来の幹事へ…」

幹事 山田 満君